



令和6年11月
港区立港南中学校
校長 佐々木 希久子
“こころ”のサポーター 夏目 富美子

“こころ”のサポーターだより

港南中学校から帰る時は、JR線から地下鉄に乗り換えます。その日、地下鉄のプラットフォームは、ラッシュ・アワーで大混雑でした。私の前の人が進まないな、、、とっていると「私はここまでなので、ここで失礼します」という声が聞こえてきました。「え?」と思い、前を見ると、白杖に赤いテープを巻いた視覚障害の女性がひとりで立っていました。どうやら、通りすがりの女性が視覚障害の女性に付き添って、プラットフォームまで来たようです。「そうか、、、」と思った私は「一緒に乗りましょうか? どうしたらよいですか?」と声をかけると「腕をつかませてください」とおっしゃり、私の腕をつかみました。電車が到着してから「電車が来ました。前に3歩。1、2、3」と言いながら、「右に2歩。1、2」と方向を声に出しながら、一緒に電車に乗りました。私の声が大きかったのか、椅子に座っていた女性が席を譲ってくださったので、視覚障害の女性を席までご案内しました。すると、その隣に乗っていた男性が私に「どうぞ」とおっしゃったので「私は大丈夫です」と答えました。ほっとしてから「あつ、この人(視覚障害の方)、どこまで乗るんだろう」という疑問がわき「どこまで行きますか?」と視覚障害の女性に聞くと、電車を乗り換えることがわかりました。「私も乗り換えるので、一緒に乗り換えましょう」と言い、乗り換え駅で次の電車に乗りました。椅子の横にある棒をつかませてあげたくて、前の人に「すみません」と言い、前につめてほしかったのですが、全く気づきません。「なぜ?」と思い、その人の耳を見るとイヤ・フォンが入っていました。それから3回くらい「すみません!」と頑張って言ったら(恥ずかしかった、、、)、周りの人がその人をトントンと叩いてくださり、白杖の人のことを指差しで教えてくれました。その後、彼女が椅子の脇の棒を握って立っていると、座っていた女性が席を譲ってくれたので、その方は椅子に座ることが出来ました。

私たちは目が見えても、ラッシュ・アワーの人混みはいつ線路に落ちるかという恐怖もあります。そんな中、目の見えない人たちは毎日、どんな気持ちで通学・通勤をしているのだろうかと考えました。健常者である私たちは、障害者である視覚障害、聴覚障害、身体障害、発達障害、知的障害等の困っている人たちが安心して暮らせる支えになり、日々、共存していきたいなあ～と思いました。

この日、見ず知らずの人たちがリレーのように支えあい、一緒に助けようとしてくれたお気持ちに心が熱くなりました。みんな見えないけれど、こころの中の温かさはつながっているんだなあ～、、と感じました。実は前回、電車の中で若い視覚障害の男性がゆらゆら揺れながら、椅子のそばの棒を握ろうとしていたのですが、そばの人はその男子を見て「右にある」と目が見えない人に向かい、言っていたのです。その人はそのまま歩いて次のドアの近くの人にも話しかけましたが、その人も目に見える人に対するのと同じ指示をしていたのです。その日、私は荷物が多く、すべてを置いて次の車両まで行くことに悩み、その人のことを支えてあげられなかったのです。それで、その日はずっと後悔していたので、これからは後悔ないように日々、過ごしていきたいと思いました。



港南中学校の生徒のみなさんへ

モヤすること、心配ごとがあったら、話しに来てください。相談室は、2階職員室ななめ前にあります。ひとりで悩まないで、私たちと一緒に考えていきましょう。また、周りに困っている人がいたら、皆さんのできる範囲でどうぞ助けてあげてくださいね。お友達がひとりで悩みを抱えていたら、皆さんから私たちに相談してもらってもよいし、その子と一緒に来てもらっても構いません。

“こころ”のサポーターの部屋ご案内

場所：港南中学校校舎 2階（職員室後方ドアの前）
開いている曜日：木曜日・金曜日

困っていること、悩んでいることがあったら、一緒に考えていきましょう。



保護者の皆さまへ

お子さんのことでお悩みがありましたら、お気軽にご連絡をください。

電話での相談も受け付けています（木曜日・金曜日）

★ご予約は下記に★

職員室代表電話番号：03-3471-0238（副校長、学年担当）
“こころ”のサポーター直通電話番号：03-5462-9100（木・金）
※ “こころ”のサポーター以外の者が出る場合がありますが、ご容赦ください。すぐにお継ぎいたします。

